

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

| | |
|---------|-----------------|
| 事業所番号 | 3871500025 |
| 法人名 | 有限会社 やわらぎ |
| 事業所名 | グループホーム やわらぎ川内 |
| 所在地 | 愛媛県東温市南方1787番地2 |
| 自己評価作成日 | 平成26年7月8日 |

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

| | |
|----------|--|
| 基本情報リンク先 | |
|----------|--|

【評価機関概要（評価機関記入）】

| | |
|-------|---------------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人JMACS |
| 所在地 | 愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501 |
| 訪問調査日 | 平成26年7月22日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

| |
|---------------------|
| お茶会、夏祭り、家庭的な穏やかな生活。 |
|---------------------|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

| |
|--|
| 事業所では、ユニット毎に数名ずつ外出できるよう支援されている。買い物のお好きな方は、「買い物ツアー」として、近くのスーパーで買い物を楽しむ機会を作っておられる。温泉が好きな男性利用者は、男性職員が入職したことで、月に1度、職員と2名の利用者で地元の「ふるさと交流館」の温泉等、近くの「温泉めぐり」をして、食事して楽しめるよう支援されている。遠出が難しい方は、「近所散策ツアー」として、近所の方の庭でお花を見たり、麦畑の生育を見ながら外で過ごせるよう支援されている。6月には、事業所の畑でじゃがいも掘り、秋には、さつまいもの収穫を計画されている。 |
|--|

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 該当するものに印 | 項目 | 取り組みの成果 該当する項目に印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37) | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28) | | |

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム やわらぎ川内

(ユニット名) ぽっかぽっかのお家 A棟

記入者(管理者)

氏名 岩佐 里子

評価完了日

平成26年7月8日

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|-----------------|------|---|---|--|
| 理念に基づく運営 | | | | |
| 1 | 1 | 理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている | (自己評価) 会議にて方針や目標を具体化し 話し合っ て理念の共有をしていて実践につなげよ うと努力している。 | |
| | | | (外部評価) 今年4月に、管理者の交代があり、管理 者は、理念にある「利用者の尊厳」や 「イキイキワクワク」をキーワードに、 「言葉遣い」「情報の共有」の大切さを 職員に話しておられる。 | |
| 2 | 2 | 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし 続けられるよう、事業所自体が地域の 一員として日常的に交流している | (自己評価) 地域の清掃に参加したり、秋祭りには 神輿、子供神輿がホームに来てくだ さり、秋祭りを皆で楽しく過ごす時間 をもっている。 | |
| | | | (外部評価) 庭の一角で犬を飼っており、近所のこ ども達が、犬と「遊んでもいいです か」と時々立ち寄ってくれる。行事は ユニット毎に行われており、月に一度 「お茶会」をするユニットでは、リ コーダーの演奏を披露してくれるボラ ンティアが来てくれる。年2回、地域 清掃があり、職員が参加されている。 隣接する他福祉施設との交流があり、 月1回の俳句大会へ楽しみに参加する 利用者がおられ、利用者は決められ たお題で俳句を詠み、順番に発表され る。又、事業所主催の夏祭りには、4 ～5名の施設入所者が参加して、利 用者と一緒に行われている。近所の 高齢者の方が、電動車椅子で立ち寄 られ、「ここはどんな人が入れるか」と 尋ねられた際には、事業所では、お 茶をお出しして、説明をされた。 | 管理者は、事業所として「地域に協 力できることを拡げていきたい」と 話しておられた。又、職員は「地域 に事業所のことをもっと知ってもら って、地域の方と一緒に取り組める ことを考えていきたい」と話されて いた。職員のアイディア等も採り入 れながら、具体的な取り組みをすす めていかれてほしい。 |
| 3 | | 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げて いる認知症の人の理解や支援の 方法を、地域の人々に向けて活 かしている | (自己評価) やわらぎの研修にお誘いをして参 加することでお互いの勉強になっ ている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--------|---|
| 4 | 3 | 運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | (自己評価) | お花見シーズンになると どこそこの花が咲いているよとか、車いすで行ける等の情報を頂ける。 |
| | | | (外部評価) | |
| 5 | 4 | 市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる | (自己評価) | 研修会には積極的に出席して、情報収集に努めている。またいろいろな相談にのってもらっており。 |
| | | | (外部評価) | |
| 6 | 5 | 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | (自己評価) | やわらぎは拘束はしないことになっており、どうしても時は期間を決めて御家族とよく話し合ってます。 |
| | | | (外部評価) | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|--|---|
| 7 | | 虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | (自己評価) 研修会や資料で学ぶ機会ありスタッフ全員注意、防止に取り組んでいる。 | |
| 8 | | 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | (自己評価) 研修などではありますが、個々に学ぶことが少ないとおもう。そういう機会があればいろいろ活用していきたい。 | |
| 9 | | 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | (自己評価) 契約時説明はしているが、入所時全てを理解できるかどうかは疑問であり、その都度話している。 | |
| 10 | 6 | 運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | (自己評価) 御家族の意見は第1に尊重し、スタッフ全員に周知徹底擦るようにして、御家族の意見にそえるように努めている。 | |
| | | | (外部評価) 7月に初めて事業所独自の「うえるかむ川内」という事業所便りを発行し、写真を載せて、行事時の利用者の表情がわかるように作成されている。事業所では、今後、年に1~2回発行していきたいと考えておられた。毎月のご家族への郵送物の中には、利用者個々の担当職員が暮らしぶり等を書いた手紙を同封されている。海外に住むご家族には、電子メールでやりとりされている。法人主催の研修会に参加したご家族から、「行ってよかった」という感想があったことから、管理者はご家族への「勉強会を開いていきたい」と考えておられた。毎年、事業所主催で開催する「夏祭り」は、以前は多くの地域の方にも案内していたが、昨年より、「家族とのふれあいを中心にしたい」という事業所の思いから、「利用者と家族中心の夏祭り」になるよう取り組まれている。 | さらに、利用者の日常の様子を知っていただいたり、認知症への理解を深めていただくこと等で、ご家族から意見や要望を引き出す工夫をしてみてください。 |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------|------|---|---|-------------------------------|
| 11 | 7 | 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | (自己評価) | |
| | | | スタッフ会や毎日の申し送り時等に全スタッフの意見や提案に耳を傾けている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 職員個々の得意なことや好きなことを活かしながら取り組める体制を作っておられる。例えば、縫い物が得意な職員が利用者が使うクッションを作ったり、折り紙の得意な職員が、壁画の飾りを担当したり、お菓子作りが好きな職員は、おやつを作る等して活躍する場を作っておられる。 | |
| 12 | | 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | (自己評価) | |
| | | | 個人面談などを行い、個人のいいところをメッセージカードにして渡したりしている。 | |
| 13 | | 職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | (自己評価) | |
| | | | 事業所内研修が充実してきているが、なかなか勤務に支障の無いようにするのがなかなかである。 | |
| 14 | | 同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている | (自己評価) | |
| | | | 地域の同業者間の交流は密に取って勉強になっている。 | |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | |
| 15 | | 初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | (自己評価) | |
| | | | 1日でも早くホームの生活に馴染めるように不安なこと、要望などを理解する為寄り添う努力をしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 16 | | 初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | (自己評価) 御家族と信頼関係を築くこと大切なので、ご家族の要望には耳を傾け ホームが安心して安全な所であることをわかってもらえるように努力している。 | |
| 17 | | 初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | (自己評価) 提案しつつご本人、ご家族が決定出来るようにおこなっている。 | |
| 18 | | 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | (自己評価) 一方的介護でなく、ご本人さんにとって良い介護を目指している。 | |
| 19 | | 本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | (自己評価) いつでも相談が出来て、本人を支えあっていけるように努めている。 | |
| 20 | 8 | 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | (自己評価) できる限り継続出来 不安にならないようにつとめている。ホームからのアプローチはできていないが、継続して訪問して下さる方もいます。 | |
| | | | (外部評価) 姉妹が利用者ご本人を探して訪ねて来られた時は、居室でゆっくり過ごせるよう配慮された。ドライブ中に、偶然通った道の看板が利用者の目に留まり、以前住んだことのあるところだと懐かしがられ、その後何度かドライブして出かけられた。7月に、事業所の隣に、教会が移転してきており、懐かしいという利用者もあり、おつきあいにつなげたいと話しておられた。元利用者のご家族がボランティアスタッフとして協力してくれており、運営推進会議に参加したり、事業所の飼い犬の散歩もしてくれている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|---|
| 21 | | 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | (自己評価) 気の合う人、合わぬ人というが、もめないように仲に入りムードをかえたりするよう気をつけている。 | |
| 22 | | 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | (自己評価) 契約終了ごも地域で交じ合うこともあるので 関わり合いは大事に努めている。 | |
| 23 | 9 | 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | (自己評価) 1人ひとりの思いや希望を出来限り支援するようにスタッフで話あって意志統一をはかっている。 (外部評価) 映画がお好きな利用者には、月1回程度、職員と映画館に出かけて楽しめるよう支援されている。隣接施設に入所しているご主人に「会いたい」という希望のある方は、週に1回程度、面会できるよう付き添い支援されている。職員は、「もっと利用者に関わり、利用者個々の希望を把握していきたい」と話しておられた。事業所では、現在、「在宅版ケアプラン作成方法検討委員会」のフェースシートと、センター方式の「私の姿と気持ちシート」を応用して、利用者の思いや意向の把握に取り組んでいるところである。 | 利用者ご本人の思いや意向、ご家族の希望等についての情報や、職員の日々の気づきや意見、アイデアを出し合い、利用者一人ひとりが自分らしい暮らしを続けられるような支援につなげていかれてほしい。 |
| 24 | | これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | (自己評価) それぞれの部屋には、馴染の家具等があり、写真もあり、少しでも今までの生活環境とかわらないようにしている。 | |
| 25 | | 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | (自己評価) 生活のリズムを把握して ご本人が生活しやすい環境を整えている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|---|-------------------------------|
| 26 | 10 | チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合 い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状 に即した介護計画を作成している | (自己評価) | |
| | | | 毎月スタッフ会にて、利用者さん1人1人について、ケアプラ ン、モニタリングをしいるいな意見をだして介護計画を作成 している。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 現在、管理者が介護計画を作成しておられ、毎月モニタリン グを行い、利用当初は3ヶ月、その後は6ヶ月ごとに計画を見 直しておられる。管理者は今後、「職員と話し合って、介護計 画を作成する流れを作っていきたい」と考えておられた。月 に1度の職員会は、ユニット毎に行われており、利用者個々 の担当職員が、モニタリングの状況について報告されてい る。 | |
| 27 | | 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫 を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しな がら実践や介護計画の見直しに活かしている | (自己評価) | |
| | | | 情報を共有し話あうようにしている。 | |
| 28 | | 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ に対応して、既存のサービスに捉われない、柔 軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでい る | (自己評価) | |
| | | | いつもではないが、条件がうまく合い出来る時には温泉めぐ りなどをしている。 | |
| 29 | | 地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把 握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊 かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | (自己評価) | |
| | | | 地域との関わり 秋祭り 子供の踊り 歌など協力していただ いている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) | |
|------|------|---|--------|---|--|
| 30 | 11 | かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | (自己評価) | 少しでも体に変化がみられたら、すぐかかりつけ医に連絡し 早め目の対応に努めている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 31 | | 看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | (自己評価) | 看護師としては働いてはいないが、1名看護師がいるのでその度対応を聞き嘱託医に連絡している。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 32 | | 入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | (自己評価) | 入院すると見舞いに行き、状況把握に努め退院後の対応を考えている。 | |
| | | | (外部評価) | | |
| 33 | 12 | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | (自己評価) | 御家族さんと密に話し合い、看取りも数例おこなっている。 | |
| | | | (外部評価) | | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|--------------------------------|------|---|--|-------------------------------|
| 34 | | 急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | (自己評価) 急変時の緊急連絡網を作っており、急変時マニュアルもあり、その都度対応について勉強している。 | |
| 35 | 13 | 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | (自己評価) 御近所の方々にも協力をお願いしている。火災時、災害の訓練もおこなっている。 | |
| | | | (外部評価) 居室の電気スタンドがカーテンに当たるのをみて、職員から「危険ではないか」という意見が出たことを機に、出火元として設定して7月23日に避難訓練を行う予定となっている。電気スタンドの位置は改善されていた。近所の方2名に、もしもの時の協力をお願いしているが、今回の訓練には日程が合わず不参加のようだ。秋には、地震発生時の避難訓練を計画しており、隣接する他福祉施設に相談して協力していただくことになっている。事務所には、懐中電灯やラジオ等を入れた「非常用持出袋」が用意されていた。 | |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | |
| 36 | 14 | 一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | (自己評価) 尊重した言葉かけに気をつけている。声の大きさなどにも配慮している。プライバシーの確保にはいまひとつ出来ていないところがあり改善しているところである。 | |
| | | | (外部評価) 調査訪問時、職員は、昼食後の利用者の口腔清掃で入れ歯の出し入れを介助する時、さりげなく口元をタオルで被い、見えないように配慮しておられた。管理者は、職員が不適切な声かけをした時等は、その都度注意するようにされている。利用者に声かけしたり、話したりする声の大きさやトーン等にも気を付けるようにされている。 | |
| 37 | | 利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | (自己評価) 介護者本位になってしまうこともあるが、出来るだけ本人の希望を叶えるよう努めている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 38 | | 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | (自己評価) その日の体調に合わせて、それぞれの役割で、その日を楽しく過ごしていただくよう支援を行っている。 | |
| 39 | | 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | (自己評価) 気温や湿度、発汗状況などを確認しながら、その人に合った身だしなみに気を配っている。 | |
| 40 | 15 | 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | (自己評価) 個別にキザミ、ミキサー、粗キザミ、との方が食べやすい様に工夫して提供し、少しでも食べて頂いている。出来る方には野菜の下準備を共におこなっている。また食器拭きなども手伝ってもらっている。 (外部評価) ユニット毎に、「旬の食材を使用する」「既製品を使用しない」ということにこだわり、冷蔵庫の食材をみて利用者の好み等も考慮し食事を作っておられる。野菜は、ご家族や近所からのいただき物や事業所で収穫した野菜等、新鮮な野菜を使用されている。利用者は、豆のすじ取りやもやしの根取り等、野菜の下ごしらえをされる。調査訪問時、食後にランチョンマットを畳んだり、食器をお盆に重ねて下膳する利用者がみられた。職員が洗った食器を拭く利用者もあられた。気候のよい時には、お弁当を手作りして庭で楽しむこともある。事業所の庭で、毎年、渋柿がたくさん採れ、利用者や職員で干し柿作りをされている。出来上がった干し柿を冷凍庫で保管しておき、夏の暑い時のおやつにすると好評のようだ。 | |
| 41 | | 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | (自己評価) 特に水分摂取には注意している。水分をあまり好まない方にはおやつの際に多めに好きな飲み物で対応したりしている。 | |
| 42 | | 口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | (自己評価) 義歯の方はきちんと対応出来ているが、ご自分でされるかたには声掛けをしている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|--|---|-------------------------------|
| 43 | 16 | 排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | (自己評価) | |
| | | | 排尿チェック表を利用して、1人1人のパターンを把握して基本トイレにて排泄をしてもらっている。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 事業所では、座位を保つことができる方は、できるだけトイレで排泄できるよう支援されている。尿意を表せる方も、排泄チェック表を見て、2~3時間トイレに行っていない時には、声をかけて支援されている。自立している方は、夜間もスムーズにトイレまで行けるよう、居室の電気のみを長くしてベッドに届くようにしており、ご自分で電気を点けたり消したりできるようにされていた。 | |
| 44 | | 便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | (自己評価) | |
| | | | 早朝に冷たい牛乳をのんでいただいたり、運動をしたり、水分を多めに摂ってもらったりその人にあった対応をしている。 | |
| 45 | 17 | 入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている | (自己評価) | |
| | | | いつでも入れるようにしているが、ホームの都合もあり、すべて希望どおりにはなっていない。 | |
| | | | (外部評価) | |
| | | | 基本的に、週2回午後からが入浴時間となっている。利用者の介護度が重度化してきたことから、機械浴の導入を検討されたが、浴室の広さのこともあり、実現が難しかったようだ。浴槽をまたぐことが難しい方は、職員が2人介助で湯船で温まれるように支援されている。男性の利用者で、入浴を好まない方がおられたが、利用者が声をかけて「男同士」でスムーズに入浴するようになった事例がある。湯船に入り、足の曲げ伸ばしの運動をご本人が決めた回数行いながら温まる方がいる。 | |
| 46 | | 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | (自己評価) | |
| | | | 利用者さんのリズムに合わせており、昼寝される方もいる。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 47 | | 服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | (自己評価) 個人ファイルと連絡ノートにもとずき確認が出来る様になっている。 | |
| 48 | | 役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | (自己評価) 個々に出来る事を話し合って支援を進めている。 | |
| 49 | 18 | 日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | (自己評価) 家族と共に出かけられる方もいる。温泉、喫茶店などに行くこともある。 | |
| | | | (外部評価) 事業所では、ユニット毎に数名ずつ外出できるよう支援されている。買い物のお好きな方は、「買い物ツアー」として、近くのスーパーで買い物を楽しむ機会を作っておられる。温泉が好きな男性利用者は、男性職員が入職したことで、月に1度、職員と2名の利用者で地元の「ふるさと交流館」の温泉等、近くの「温泉めぐり」をして、食事もして楽しめるよう支援されている。遠出が難しい方は、「ご近所散策ツアー」として、近所の方の庭でお花を見たり、麦畑の生育を見ながら外で過ごせるよう支援されている。6月には、事業所の畑でじゃがいも掘り、秋には、さつまいもの収穫を計画されている。 | |
| 50 | | お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | (自己評価) 本人が所持している方もおり、大切に保管している。買い物等に一緒に行って使えるように支援している。 | |
| 51 | | 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | (自己評価) 手紙、はがきの書ける方には書いてもらっている。 | |

自己評価及び外部評価表

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ) |
|------|------|---|--|-------------------------------|
| 52 | 19 | <p>居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 天井の窓を開けたり、網戸にして換気して自然の温暖に出来るだけするようにしている。</p> <p>(外部評価) ユニット毎に独立した建物となっており、それぞれに玄関から出て、行き来されている。ユニットを囲むように庭があり、松や桃、花梨や梅、いちぢくや柿、紫陽花等、季節に応じて楽しめるようになっている。調査訪問時、利用者は居間のテレビの前のソファに座り高校野球を観戦したり、畳コーナーの座椅子に座り、うとうとする方も見られた。昼食後には、麦わら帽子をかぶってテラスに出て煙草を吸う方もあり、洗濯物をたたむ利用者の様子も見られた。本棚には、小説や料理本等があり、利用者と職員で料理の本を見ながらメニューを決めることもあるようだ。</p> | |
| 53 | | <p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 個室で過ごしたり、フロアのソファにて定位置がある。移動しているいろいろな所に座られるかたもいる。</p> | |
| 54 | 20 | <p>居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>(自己評価) 本人が家で使っていた布団やタンス、衣類等を持って来られている。部屋は使いがってのいいように模様替えもおこなっている。</p> <p>(外部評価) 窓からは事業所の庭や畑の様子が見える。タンスやご家族の遺影を持ち込まれている方があった。ご家族の写真やひ孫さんが書いた絵を壁に貼ってある方もおられた。ご家族が持って来られたぬいぐるみを並べている方は、「みんな好き」と笑顔で話してくださった。俳句がお好きな方は、ご家族が月刊誌を毎月届けてくれており、楽しみに居室で読んでおられる。</p> | |
| 55 | | <p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>(自己評価) フロア、浴室、トイレにははてすりがあり、トイレや風呂場の入り口には目印となるものを設置したわかりやすいyぶにしている。</p> | |